

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第18号 平成19年 8月20日

深沢 1死報いる 2ベース、完敗防ぐ口火

気持ちよい負けっぷり！



8月19日平塚球場にて湘南マスターズとオープン戦を行った。世話役がやってみたい球場の一つであるこの平塚球場で、野球が出来る喜びを感じながら、プレイボールを迎えた。今日の我がチームは後攻。先発はキャプテン政司。先頭打者を2ストライクまで追い込んだ後、ライトスタンドヘワンバウンドで入るエンタイトル2ベースで幕を開けた。続く打者をキャッチャーフライに打ち取るものの、3番打者に内野安打とされ、1アウト、1、3塁とピンチを迎えた。続く4番打者には、レフト深い打球を打たれ、タッチアップで先制点を献上した。しかし、今日先発レフトに入った坂上が、好守備を見せたお陰で、この打球が犠飛で収まった。ただ、まだ塁上に残るランナーが2盗・3盗を決め後続打者のヒットで2点目を与え、初回を終えた。我がチームの打線は、相手投手を援護するかのバッティングで、4回まで、ランナーを出す事が出来なかった。頭の中に、今期3試合目のノーヒットゲームかと思った5回、先頭打者の深沢が、レフトオーバーの2ベースを放ち、後続打者の際にワイルドピッチで3塁に進み、絶好の得点チャンスを迎えた。しかし、後続が四球を選び塁上を埋めたものの、得点は相手投手のワイルドピッチ及び、内野ゴロの間の得点で、ヒットは結局この1本のみで終わった。しかし、塁に出る事は、如何にチームに活気を生むかが改めて分かった事でも有る。収穫は、正捕手牧野が、マウンドへ上がったことである。肩を気にしながらのピッチングであったにも係わらず、打者4人を2三振と快調に切り抜けた事は、チームにとっての大きな収穫であろう。先発政司も被安打10であったが、四球が1と内容は悪くなかったと思う。